最新情報

「日本死の臨床研究会年次大会」のお知らせ

2014年09月10日

当館の日浦あつ子緩和ケア病棟看護師長が大会長を務める「第38回 日本死の臨床研究年次大会」が開催されます。

大会テーマ
輝いて今を生きるために
― 尊い生と死から学ぶ ―

○会期　平成26年11月1日(土)～2日(日)

○会場　別府国際コンベンションセンタービーコンプラザ

大分県別府市山の手町12番1号

TEL: 0977-26-7111　FAX: 0977-26-7100

第38回 日本死の臨床研究会年次大会(PDF:319KB)

第38回 日本死の臨床研究会 年次大会　プログラム

会期：2014年11月1日（土）、2日（日）
会場：別府国際コンベンションセンター：ビーコンプラザ
大会テーマ：「輝いて今を生きるために-輝いると死から学ぶ-」
詳細は大会ホームページにて：「第38回日本死の」でキーワード検索

◆大会長講演◆
山岡　憲夫（やまおか在宅クリニック）：「輝いて今を生きるために－尊い生と死から学ぶ－」 弟会：日浦あつ子（佐賀県医療センター好生館）

◆特別講演◆
Ⅰ）下稲葉　康之（栄光病院）：　「ホスピスの「質の問」に迫る」
Ⅱ）高木　慶子（上智大学 グリーフ研究所）：「 「輝いて今を生きるために」とは、どのようなことか」
Ⅲ）石垣　靖子（北海道医療大学大学院）：　「「いま、ここに在る」というプレゼント」
Ⅳ）寺俊　俊之（聖学院大学大学院）：　「人生の危機とスピリチュアルティ」
Ⅴ）沼野　尚美（聖隷市立病院）：　「今を生きるコツ」
Ⅵ）末永　和之（すえながが外科在宅診療所）：　「まるごといのち～舎子みずゞのまなざしとホスピス～ 」

◆特別対談◆「市民ホスピスの広がり」：山崎　章郎　／二ノ坂　保喜　／　座長：米沢　慧

◆教育講演◆
1）恒藤　暁（京都大学大学院医学研究科）：　「Whole Person Careの目ざすもの」
2）濱口　恵子（がん研究会有明病院）：　「がん看護における痛苦の問題－緩和ケアにおける痛苦的ジレンマ」
3）山崎　章郎（クオラクワンの平クリニック）：「スピリチュアルペインとケアー そのスピ的な技術のホスピリチュアリティを支援する」
4）村田　久行（恵愛メートルダムなかまち学園）：「がん患者のせな至へのスピリチュアルケアー実存的痛苦からのアプローチ」
5）小澤　竹俊（のぞみ在宅クリニック）：　「人生の最終段階への "おもてなし" に求められること～援助を言葉にする～」

◆シンポジウム◆
Ⅰ）「多死社会に向けて－end of Life を考える－」：千田　浩／永井　康徳／矢津　剛／市原　美穂
Ⅱ）「ホスピス緩和ケアのこころ」：　田村　恵子／林　章敬／清田　寛人／栗原　幸江
Ⅲ）「死んだらどうなると聞かれたら」：　大下　大圓／平川　義雄／谷山　洋三／柴田　実
Ⅳ）「地域緩和ケアネットワークの広がり」：　宇都宮　宏子／田村　恵子／小林　秀正／平野　隆子

◆パネルディスカッション◆
Ⅰ）「明日を支える人を育てるために」：　五十嵐　雄造／高宮　有介／小畑　麻乙／宮園　靖彦
Ⅱ）「いのちの輝き～障がいと共に」：　武田　康男／大取　望美／大越　桂／瀬間　一枝
Ⅲ）「家に帰りたい患者に寄添いている家族の支援」：　長尸　和子／井上　実穂／福地　智巳

◆フォーラム◆「輝いて生きるサバイバーの語み」：坂下　千瑞子　／三好　綾　／上野　創

◆セミナー◆
1）カール・ベッカー（京都大学大学院）：　「ホスピスはさびないじゃ、看取りの意味を探る」
2）阿部　まゆみ（名古屋大学大学院）：　「サポートブックを活用しん、親と子の幸在高める緩和ケアコミュニケーション」
3）下稲葉　かおり（セナテシュ大学）：　「医療者のグリーフ～ちんたらケアは必要ですか～」
4）桑田　美代子（青梅慶友病院）：　「穏やかに生き、安らかに逝く」
5）木幸　ひなの（活水女子大学　看護学科）：「いのちのバトンタッチ」
6）米沢　慧（評論家）／頭崎　行輝（ホスピス運動家）：「ホスピスへの道」語－マザー・エイグンヘッドから市民のホスピスへ～」

◆ご当地セミナー◆「フクロウの声がきこえる 」：中谷 健太郎（由布院亀の井別荘　会長）

◆震災関連特別企画◆　村上　雅章（岩手県立大船渡病院）／　笹原　留似子（ 株式会社程　復元納棺師）

◆国際交流広場◆　アルフォンス・デーケン（上智大学）「悲しみに沈む人々に寄り添って－これからの展望と課題－」

第38回 日本死の臨床研究会 年次大会 プログラム(PDF:147KB)

第38回 日本死の臨床研究会 年次大会 市民公開講座(PDF:338KB)

最新情報に戻る
ページの先頭へ戻る

本サ小上の文章や画像等に関する権利は佐賀県医療センター好生館に帰属します。本サ小上の文章・画像等の無断使用・転載を禁止します。
Copyright 2004-2013 SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN. All rights reserved.